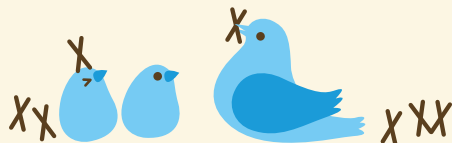




ケンプンスイッチ

8月号



Twitterのライバル?! 公開5日でユーザー1億人超えを果たした“Threads(スレッズ)”とは

Threads(スレッズ)は、Twitterの新しい競合相手として7月6日にメタ社から登場したSNSです。Twitterは、イーロン・マスク氏買収後の度重なる仕様変更、特に7月に入って利用者に閲覧制限をかけたことで多くのユーザーが不満を表明していました。

Threadsは、不満の受け皿となる絶妙なタイミングで登場、サービス開始からわずか5日間で利用者が1億人を突破しました。ただしこれには理由があり、Threadsは、Instagramのアカウントを持っていれば、すぐに始めることができたからです。10億人のユーザーを持つInstagramのソーシャル・パワーをそのまま活かして、Threadsはあっという間に短文投稿SNSの一大勢力となったのです。

この動きは、とりわけ企業にとっては、魅力的な広告メディアの登場と映るかもしれません。Twitterは匿名投稿が多いこともあって中傷や炎上が散見され、その結果、企業の広告出稿が敬遠されがちともいわれています。その点Threadsは、ライフスタイル関連の話題が多いInstagramのコミュニティをあらたに引き継いでおり、企業の商品やサービスと親和性が高そうだからです。

一方、現時点では、Threadsの使い勝手をTwitterと比べると、見劣りする点もいくつかあります。◎ダイレクトメッセージが送れない◎ハッシュタグが使えない◎検索対象がアカウントのみで投稿内容を検索できない、などです。しかし機能については今後バージョンアップされるかもしれないので静観しましょう。

Threadsについて、メタ社はさまざまなSNSサービスと連携して「フェディバース*」を目指すとも明言しており、そうした意味でも今後の展開を注視していく必要がありそうです。(2023年7月21日執筆時)

*フェディバース(Fediverse)
複数の独立したソーシャルメディアが相互に接続・連携し、1つのアカウントでそれらを自由に行き来できるネットワーク、あるいは仮想世界を意味する言葉。英語で「連合する」を意味するfederateと、「宇宙」を意味するuniverseを合体させた造語。

